



Information5

暖かくなり過ごしやすい時期になりました。

今月のインフォメーションは、【**皮膚病**】についてです。

動物から人へうつる・うつらないで割り振りました。

うつらない皮膚病

☆膿皮症

全身の皮膚で起こりますが、脇・顔・内股・指間などで発症が多く、湿疹・赤み・痒み・脱毛・フケなどの症状がみられます。

☆マラセチア症

皮膚が赤く、ベタベタした感じで匂いが気になる場合が多く痒みもあります。皮膚のひだや耳、脇の下や内股など、皮膚が擦れる部分に起こりやすいです。

☆ニキビダニ症(毛包虫)

目と口の周辺、顔、四肢の先端に脱毛を起こすことが多く重症になると全身に症状が広がります。二次感染を起こすと化膿や出血、むくみなどを伴った強い症状がみられます。

うつる皮膚病

☆皮膚糸状菌症

皮膚糸状菌とは、“**カビ**”です。
カビは広い意味では、“**真菌**”のことを指します。
真菌には、糸状菌・酵母・きのこの3つが含まれます。
一般的にカビと呼ぶ場合、すなわち狭い意味での「カビ」は糸状菌のことをいっていることが多いです。
症状は、脱毛・フケ・紅斑・痒みがみられます。



※人畜共通感染症とは…

ヒトとそれ以外の脊椎動物の両方に感染
または寄生する病原体により生じる感染症のこと。



うつりそうでうつらない皮膚病

☆ノミ

犬や猫では、**ノミアレルギー性皮膚炎**という皮膚病があります。ネコノミが原因となることがほとんどです。
ノミの唾液に対するアレルギーが引き金になることから、ノミの寄生が少数でも発症します。
ヒトにおける皮膚病の場合は、噛まれることによりノミ刺傷を引き起こすことがあります。



☆疥癬

めっちゃめっちゃかゆいです！！
犬では、イヌセンコウヒゼンダニ
猫では、ネコショウセンコウヒゼンダニ が原因になります。
ヒトの皮膚では繁殖ができないものの一時的に寄生することができます。
(人でも疥癬はありますが、ヒトヒゼンダニが原因になります。)

今回は、よく見られる**皮膚病**についてまとめました。

予防するには、生活環境を清潔にし、
特に夏場は高温多湿にならないよう注意しましょう！！
日頃から適切なシャンプーやブラッシングなどのケアを心掛け
皮膚のチェックもこまめにしよう！
皮膚に赤み、フケ、カサブタが見られたらご相談ください。

